

こんなことが決まりました



耕作放棄地を調査する農業委員

これまで市議会議員の報酬や期末手当は、市長など常勤特別職の状況に応じて、

農業委員の任命制
市長の任命制

農業委員会などに関する法律の改正により、農業委員会の委員の選出方法が、公選制から市町村長による任命制に改められることとなります。

また、耕作放棄地の発生防止や担い手への農地の集積を進めるため、「農地

人事院勧告に基づき、国の特別職の給与改定がなされました。国の改定に基づき、市長・副市長・病院事業管理者・教育長の期末手当の支給率を年0・1月分引き上げ3・25月分にしました。

市長・議員などの期末手当引き上げ

12月定例議会では、市長、副市長、教育長、病院事業管理者や議会議員の期末手当を引き上げる条例、農業委員会に関する法律の改正による農業委員の定数を定める条例などが提案されました。

また、ハイルザーム栗駒、くりはら交流プラザ、若柳総合体育館などの指定管理者を指定する議案が提出され、すべて原案のとおり可決しました。

人事案件では、人権擁護委員の推薦を求められ、全会一致で同意しました。

改定してきました。

今回、期末手当の支給率を市長などと同様に0・1月分引き上げ、年3・25月分としました。

議員1人当たりの引上額は約4万円です。

市職員の勤勉手当も同様に引き上げました。

利用最適化推進委員（以下、推進委員）が新設され、定数をそれぞれ次のように決めました。

農業委員 24人
推進委員 22人
なお、推進委員の報酬は月額3万6400円。費用弁償は15000円です。

意見書2件可決

12月定例議会では2件の意見書提出を求める発議案が提出され、全会一致で可決しました。可決した意見書は次のとおりで、内閣総理大臣などの国の関係機関や県に対し、実現するよう要請しました。

地方議会議員の厚生年金への加入を求める

国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

有害鳥獣駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める

年々増加するイノシシなどの個体数を削減するためには、狩猟免許取得者及び箱わなの保有数の増加や、隣接自治体間及び猟友会、鳥獣被害対策実施隊等の緊密な連携が不可欠である。

よって、イノシシをはじめとする有害鳥獣の個体数の更なる削減、農産物被害軽減及び人的被害防止を実現するよう、以下の事項を求める。

- 1 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を増額すること。
- 2 隣接自治体間及び各猟友会、鳥獣被害対策実施隊等の広域的かつ緊密な連携を図ることができる制度の創設と必要な予算措置を行うこと。

指定管理者が決まる

くりはら交流プラザ 管理者 くりはら振興株式会社	期間 平成29年4月1日から平成32年3月31日まで	期 間 平成29年4月1日から平成34年3月31日まで	文字郷土文化保存伝習館 管理者 一和会
ハイルザーム栗駒ほか4施設 管理者 株式会社ゆめぐり	期 間 平成29年4月1日から平成32年3月31日まで	期 間 平成29年4月1日から平成34年3月31日まで	若柳総合体育館ほか3施設 管理者 特定非営利法人栗原市体育協会
若柳特産物直売センター 管理者 若柳地区農産物直売所くりでん出荷組合	期 間 平成29年4月1日から平成32年3月31日まで	期 間 平成29年4月1日から平成34年3月31日まで	

討
論

12月定例議会では、次の2議案について、賛成または反対の立場で、それぞれの意見を述べました。

反対 菅原 勇喜議員
議員報酬は仙台市を除く県内13市の中で4番目に高い。30万円までの政務活動費も認められている。市民平均所得は県内14市中最下位である。介護保険料、水道料金引き上げの議決を行った議会が、3年連続の議員期末手当の引き上げを行うことは到底認められない。

賛成 佐藤 範男議員
単独で人事委員会を持たない栗原市では、これまで、一般職および特別職の給料や手当の改正については、国の人事院勧告に準拠し、増額や減額を行ってきた。また、将来ともに、政治を志す有為な人材の奮起を促すための処遇を維持することは、必要である。

議案第101号 平成28年度 栗原市一般会計補正予算

高橋勝男議員ほか3人から、汚染牧草減容化処理基本計画策定業務委託料の100万円を減額する修正案が提出され、修正案賛成者と原案賛成者として討論が行われました。

修正案賛成

小岩 孝一議員

製造した堆肥の活用方法が明らかでない中で、本格稼動を前提とした基本計画の策定は時期尚早で、事業実施に向けて市民の理解と協力を得る事が大前提であり、17日の市民説明会で理解を得たと判断するのは疑問である。風評被害に対する不安も大きいものがある。

修正案賛成

菅原 勇喜議員

実証実験の結果報告では放射性物質が18・9%消失しているほか、31・28トと6・8倍化した大量の堆肥が発生している。放射性物質が入っている堆肥を使うことは、安全、安心を志向する消費者からはソッポを向かれ、実害がでることを危惧し修正案に賛成する。

原案賛成

阿部 貞光議員

汚染廃棄物の処理は市民の安全安心を確保するためには喫緊の課題であり、対案も示さず、提案された議案を否定する事は無責任と言わざるを得ない。出口対策を含めた基本計画策定業務を進め、一日でも早く処理の方向性を示す事こそ、責任ある議会の姿勢と考える。

原案賛成

相馬 勝義議員

私は有用微生物を使う除染について一般質問を行った事がある。将来を担う子ども達の安全・安心を確保し、生じた堆肥の処理方法など市民が納得する方策を検討する上でも、有用微生物を活用した汚染牧草の処理の方策を調査するとしたこの補正予算案に賛成する。

12月定例議会での審議結果 (意見が分かれた議案について掲載しました)

議員氏名	議決結果	採 決 結 果																												
		濁沼 一孝	佐藤 悟	小野 久一	佐々木 脩	相馬 勝義	高橋 義雄	高橋 文男	佐藤 文男	高橋 勝男	小岩 孝一	佐々木 嘉郎	五十嵐 勇	三浦 善浩	三浦 千昭	三塚 東	瀨戸 健治郎	鹿野 芳幸	阿部 貞光	菅原 久男	菅原 久男	佐藤 久義	佐藤 勇	高橋 涉	菅原 勇喜	石川 正運	佐々木 幸一	佐藤 範男	沼倉 猛	
発議第2号	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第101号 修正案	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第101号 修正部分を除く原案	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※ 「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒賛成しなかった議員、「◎」⇒欠席、「-」⇒議長のため採決に加わらない

人事

○人権擁護委員の推薦に同意

- 三塚 優さん (築館) 新任
- 佐藤 裕子さん (金成) 新任

陳情

12月定例議会に8件の陳情書が提出されました。

「高額療養費制度」「後期高齢者の窓口負担」見直しの慎重審議と現行制度継続を求める意見書の採択を求める陳情書
宮城県保険医協会 理事長 井上 博之さん

指定天然記念物指定に関する夫婦したれ桜に関する陳情
遠藤 春美さん

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書の提出について
一般社団法人宮城県法人会 連合会 会長 菅原 一博さん

宮城県春闘共闘会議
代表幹事 高橋 正行さん

有害鳥獣(イノシシ)駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書採択を求める陳情書
角田市議会 議長 柄目 孝治さん

栗原ブロック商工会連絡協議会
栗原南部商工会 会長 阿部 忠雄さん

「栗原市中小企業振興基本条例(仮称)」制定への要望
ほか3団体 執行委員長 宮野賢一さん

宮城県中小企業家同友会
代表理事 鍋島 孝敏さん

障年金制度創設等に関する意見書提出を求める陳情書
全日本年金者組合宮城県本部 執行委員長 宮野賢一さん